

恩納村の民俗語彙

人の一生に関連する言葉

今回は村史「言語編」より、現在進めている原稿を少しご覧いただこうと思います。「言語編」は上下2冊発刊する予定です。上巻は村内で伝わってきた言葉が各区で同じなのか、違うのか、また恩納村周辺の地域とはどうかを地図で示す試みをしています。下巻は語彙集を編集中です。「人間関係」「身体」「衣」「食」「住」「道具」「生業」「民俗」「動物」「植物」「自然・気象」「空間」「動詞」「擬声擬態語」「形容詞」「副詞」「代名詞」「数詞」「助動詞」「形式名詞」「助詞」といった項目に言葉を分けて、和琉辞典の形で紹介します。

下巻の「民俗」の部分は各地域の字誌などを参考に編集しています。それをもとに各地域でさらに聞き取りを進めます。今回は「人の一生」に関する言葉を見えます。現在ではなくなった物事もありますので、読み物としても楽しんでほしいと思っています。

最初に「出産」にまつわる儀礼の言葉です。言葉の後ろについている小さな漢字は地域の頭文字です。

【お七夜】^{しちや}マンサン^{名題} ヒチニチマンサン^{前ル}クニチマンサン^谷 産後7日目を迎えて忌み明けとなること。その際に親戚、友人などを招いて祝う。山田では「四日ジール」といって、4日目からは産婦も子どもも安定時期ということで親戚がご馳走を持ち寄って産婦の労をねぎらった。富着でも「四日ジール」といって、マンサンの前夜祭みたいなものがあった。安富祖では「九日ジール」といって9日間母体を温めた。

ジールは囲炉裏のことです。現在、ジールのある家はほとんどないので、このような行事は行われていませんが、出産後間もない産婦や子どもをいたわる習慣は残っています。

次は赤ちゃんの頭皮にできる湿疹を指す言葉です。現在も同様の症状があるときには優しく洗っています。

【乳児脂漏性湿疹】^{にゅうじしろうせいしっしん}①ウシヌクスー^{名題}②ンマヌクスー^{安前} マーヌクスー^{名題} ウマヌクスー^{名題} 赤ん坊の頭にできる湿疹。皮膚が弱いので無理に取らないほうが良い。自然に取れる。ぬるま湯でゆつくり洗い、マーア^{名題}ンダ^{名題}(菜種油)でふき取ったり、油でうかせて櫛で取ったりした。③ウマヌクスー^{名題}ンジトーン^{名題}(乳児脂漏性湿疹ができています)

次に人生の節目に行われている祝いに関する言葉です。こちらは普段からみなさんが聞いたり、使ったりしている言葉かと思います。

【生年祝い】^{せいねいわ}トウシビー^{名題} ユー^{名題}トウシビー^{名題} ユー^{名題}トウシビー^{名題} 生まれた年の干支の年に祝う。数え年13歳・25歳・37歳・49歳・61歳・73歳・85歳に祝うが、特に女性の13歳の祝いは盛大であった。現在は男女関係なく祝うことが多い。正月最初の十二支の日はその年の干支に当る人の祝いをする。昔は、61歳、73歳の生年祝いを迎える人は稀であったため、大きな祝いをした。④ワッターア^{名題}ンマーヤ^{名題}ジヌンネンシガ^{名題}ヌーサー^{名題}ニトウシビー^{名題}スガヤー^{名題}(私たちのお母さんはお金もないのにどうやって生年祝いをしようかね)



名嘉真の生年祝い
(2011年卯年生まれ)